

Solan Primary School
4th grade news letter

Venture Fourth

2023. Dec. 4

地域に伝わる伝統文化

今朝のNHKニュース。
面白い特集が組まれていました。
まずはこちらをご覧ください。



顔に何やら白いものをべっとりと塗った女性の方が「念願かなってちょっと幸せ」と話しています。

この絵だけを見てピンとくる方は、それほど多くないでしょう。

私も、今朝のニュースを見るまでは全く知らない「伝統文化」でした。

現在、社会科では「地域の伝統文化」について学習を進めています。
 日本には、昔から長く受け継がれてきた伝統文化が存在します。
 教科書にまず登場したのは、100年以上前に建てられた愛媛県松山市にある「道後温泉本館」の記述。

さらに、宇和島市の「ハツ鹿おどり」や新居浜の「太鼓祭り」などが紹介されていました。

これらはすべて「愛媛県の伝統文化」です。

そこで、この教科書の記述をきっかけとして、「自分の地域の伝統文化を調べよう」という学習に現在取り組んでいます。

愛知県といっても、その地域は様々です。

伝統文化も、各地によって実に多様なものが残っています。

しかも、渡辺さんのように、このクラスにはお隣の岐阜県から通っている子もいます。


自分の住んでいる地域にはどんな伝統文化があるのかを調べてみようとしている中で、さっそく自ら動き始めた子がいます。

今朝、渡辺さんが私の所にやってきて

「先生、この前の土曜日にここに行ってきたよ」

と話してくれました。持ってきた資料を一目見て、私は心躍りました。

鶺鴒とは？



鶺鴒とは、鶺鴒を使って鮎などの魚をとる漁法のことで、古くから全国各地で行われ、現在、全国12か所で行われています。その中でも、特別に宮内庁式部職鶺鴒匠に任じられている鶺鴒匠は、岐阜市長良の6人と、関市小瀬の3人、あわせて9人だけです。鶺鴒は、地域によってちがいがあがり、長良川の鶺鴒は夜に行いますが、観光用に昼に行くところもあります。

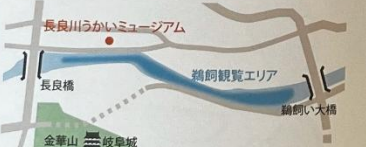
長良川の鶺鴒

長良川では1300年以上前から鶺鴒が行われてきました。今では毎年多くの観光客が訪れる、岐阜市を代表する文化遺産です。

長良川の鶺鴒は、毎年5月11日から10月15日までの約5か月間、川の増水や強風の日、中秋の名月にあたる日を除き、毎夜行われています。中秋の名月に鶺鴒が行われないのは、月が明るすぎて、鮎が活発に動き過ぎるからと言われています。

現在、長良川の鶺鴒が行われるのは、鶺鴒い大橋と長良橋の間。鶺鴒匠は、それぞれの家の近くにとめてある鶺鴒舟に道具や鶺鴒を入れた鶺鴒かごをのせ、船頭(とも乗り、中乗り)と、スタート地点である鶺鴒い大橋下のまわし場に向かい、川を下る順番をくじびきで決めて準備します。

花火が上がると、鶺鴒が始まる合図。まわし場から鶺鴒舟が順番に川を下る「狩り下り」をします。




長良橋に近づくころ、鶺鴒のクライマックス「総がらみ」が行われます。総がらみは、6艘の鶺鴒舟が川幅いっぱいの一列に並び、いっせいに鮎を追いこむ漁法で、鶺鴒のいちばんの見せ場。鶺鴒匠が6人いる長良川の鶺鴒ならではのものです。

鶺鴒匠は、鶺鴒舟に乗って、10～12羽の鶺鴒をあやつります。鶺鴒には首結いがついて、とった魚は首にたまりまます。鶺鴒匠は、鶺鴒を鶺鴒舟に引き上げると、首にたまった魚をかご(吐けかご)に出させます。

長良、小瀬では、特別な鶺鴒「御料鶺鴒」も行われています。「御料鶺鴒」は、一般には漁をすることができない「御料場」で、皇室に納める鮎をとる鶺鴒です。「宮内庁式部職鶺鴒匠」に任命された長良川の鶺鴒匠だけが行う特別な鶺鴒で、毎年8回行われます。

【期間】毎年5月11日から10月15日まで ※中秋の名月と、増水・強風などの日を除いて毎夜
 【時間】午後7時30分～45分頃 花火があがり、鶺鴒が始まる
 「狩り下り」…鶺鴒舟と並走して川を下りながら鶺鴒を観る
 (川の状況や天候により「付け見せ」…停泊した観覧船の前を下る鶺鴒を観る)
 午後8時過ぎ 「総がらみ」…鶺鴒舟が一列に並び、いっせいに鮎を追いこむ





渡辺さんが調べてきたのは、岐阜県が誇る伝統文化「鶺鴒」でした。

今朝、この資料を見せながら教室で説明をすると、教室で歓声が上がりました。

その漁の仕方、魚の取り方が、子どもたちが知っている漁法とは大きく異なっていたからです。

ちなみに、鶺鴒ミュージアムは私も昨年自分の子どもたちを連れて行ってきました。

長良川の雄大な流れと、そこに住む人たちが 1300 年以上も昔から受け継いできたまさに地域が誇る伝統文化を感じられる素晴らしい資料館でした。

このように、東海近辺の伝統文化に触れたり、学んだりできるスポットがあれば、ぜひ教えてください。

☆ ↓ 読者ページはこちらから ↓ ☆ ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcipcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>



そして、渡辺さんのように自ら進んで「知の扉」を開けるような学びを多くの子に体験してほしいと思っています。

そういえば、先日エルトゥール号事件の授業をしたところ、「今度っ串本町に行くことになったよ!」と教えてくれた子もいました。

学校での学びをきっかけとして、どんどんと知の扉をこれからも開いてほしいと思っています。

そうそう、冒頭の顔が真っ白になっていた女性が体験したのは、「おしろい祭り」と呼ばれる福岡県の伝統文化です。

こちらも、300年以上の歴史がある由緒正しいお祭りなんですよ。



興味がある人は、ぜひ下のリンクをクリックしてみてください。

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20231203/k10014276681000.html>